

新潟県納税貯蓄組合総連合会長賞 優秀

命を守る

新潟大学教育学部附属長岡中学校

三年 大保 優衣

テレビや新聞を見ると交通事故のニュースが目に見え込んでくる、毎日のように。そのニュースを見る度に、いつも私はこう思う。「なぜこんなに事故が起こってしまうのだろう。」そこで私は、交通安全に関してどのような対策が行われているのか、考えてみることにした。

最近、私の記憶に深く刻まれているのは、滋賀県の園児達が亡くなった事故のニュースだ。交通安全に気をつけていた園児達の命を守る方法はなかったのだろうか？私の住む新潟県では、この事故が起こる前から、交差点の安全点検の他、ガードレールや金属ポールの設置を進めていたようだ。そして、この痛ましい事故をきっかけに、人身事故の多発地点などを優先し、さらに安全対策を進めていくようだ。ただし、予算面の制約もあり、思うように対策を進められない可能性もある。私達が税金を納めることが、財源を確保することに繋がっているのではないだろうか。

また、高齢者のドライバーが加害者になっているニュースも、よく見かける。それを減らすために、全国で免許返納の取り組み

も行っている。しかし、免許返納をすることで生活に支障が出るため、取り組みが思うように進んでいないのが現状だ。その対策として、公共交通機関が充実している所では、対象者の運賃を半額にしたり、移動困難者向けにタクシー運賃の一部を支援する制度を導入している。また、公共交通空白地でも、乗合タクシーを導入することで、免許返納をした人の暮らしを支えている。このように、高齢者の移動手段確保の取り組みにも、私達が納める税金が役立てられている。

しかし、交通手段は私達の生活において必要不可欠だ。事情があつて、免許返納をできない人達に向けて、出来ることはないだろうか。私は、高齢者に向けて運転技術やマナーに関する講習会を開いたり、最新技術のVRを使って、交通事故をよりリアルに疑似体験することが、事故の抑制になるのではないかと思う。

私達が安全に暮らしていくための、このような取り組みは、私達の納める税金によって支えられている。税金をきちんと納めないで、このような取り組みは続けることができない。納税は国民の義務であるが、実際に滞納したり脱税する人もいる。交通安全に対する意識も、納税に対する意識も、一人一人が心がけることで、私達の安全な暮らしを守ることに繋がっていくのではないだろうか。皆が自分のこととして考え、知恵を出し合うことで、様々な意見が生まれれると思う。幅広い年代の人達が意見交換をする場が、もっとあつたら良いのではないか。尊い命を守るために、より良い税金の使い方や取り組みを皆で考えていきたい。